

令和4年3月30日

摂津市長 森山 一正 様

摂津市鳥飼まちづくりランドデザイン策定委員会
委員長 梅村 仁

答 申 書

令和3年5月25日付摂市政第33号で諮問のありました摂津市鳥飼まちづくりランドデザインの策定について、調査審議を行いました。

鳥飼地域は地形的特徴から水害リスクが大きい地域ですが、そのリスクを正しく理解し、適切に対応することで、災害の影響を軽減することは可能です。河川がもたらす恵みや魅力にも目を向け、自然と共生するまちづくりの観点から鳥飼まちづくりランドデザイン（素案）を取りまとめましたので、別添のとおり答申します。

答申にあたっては特に留意する事項として下記のとおり意見を付記しますので、十分に尊重し、将来予想（将来のまちづくり）等の実現に向け、取り組まれるよう望みます。

記

1 鳥飼まちづくりランドデザインの実現に向けた取組の着実な推進

本ランドデザインに掲げる将来のまちづくりの方向性を参考に、関係住民等の意見を聞きつつ具現化していくとともに、着実な推進を図ってください。

2 住民・事業者等との協働の推進

まちづくりは行政だけでは遂行できないことを理解し、鳥飼地域の住民や事業者をはじめ、地域に関わる多様な人々や団体等が主体的にまちづくりに参画できる仕組みを構築するとともに、多様な主体の連携強化、まちづくりを推進するための協働体制の確立に努めてください。

3 鳥飼地域の歴史や文化を踏まえたまちづくり

将来のまちの姿は、その地域の歴史やこれまで育んできた文化の延長にあることを意識し、まちづくりを推進するにあたっては、鳥飼地域の住民等に対して、地域固有の歴史・文化の理解を深めるよう働きかけるとともに、地域への愛着や誇りを醸成する取組への支援に努めてください。